

平成 29 年 度

## 全 自 連 全 日 本 研 修 会

期 日 平成 29 年 11 月 1 日 (水) ～ 2 日 (木)

場 所 ホテルニューイタヤ

全国自転車問題自治体連絡協議会

開催市事務局 宇都宮市建設部道路建設課

平成29年度 全自連全日本研修会 日程

1 期 日 平成29年11月1日（水）～2日（木）

2 会 場 ホテルニューイタヤ  
栃木県宇都宮市大通り2丁目4番6号  
電話 028-635-5510

3 日 程

(1) 第1日目<11月1日（水）>

① 全体研修会（14：45～17：10）

ホテルニューイタヤ 南館4階 桜の間

14：45 主催者挨拶 全国自転車問題自治体連絡協議会  
会長 千代田区長 石川 雅己

14：50 開催市挨拶 宇都宮市長 佐藤 栄一

14：55 講 演 1  
宇都宮共和大学教授 古池 弘隆 氏  
「自転車は未来を救う」

15：55 講 演 2  
サイクルスポーツマネジメント株式会社 柿沼 章 氏  
（「宇都宮ブリッツェン」の運営会社）  
「自転車がもたらしてくれるもの」

16：25 休 憩

16：40 事例発表  
富山市 市民生活部 生活安全交通課 杉山 裕 氏  
「富山市自転車利用環境整備計画」  
富山市自転車施策のご紹介

17：10 全体研修会終了

② グループ別研修会（18：00～20：00）

ホテルニューイタヤ 本館3階 天平の間

(2) 第2日目 <11月2日(木)>

施設見学会(9:00~12:00)

8:45 ホテルニューイタヤロビー(大通り側)に集合

【グループ1, グループ2】

9:00 ホテルニューイタヤ発

9:30 大谷資料館着

10:45 大谷資料館発

11:25 JR宇都宮駅西口駐輪場, 宮サイクルステーション

11:55 施設見学会終了(解散)

【グループ3】

9:00 ホテルニューイタヤ発

9:10 JR宇都宮駅西口駐輪場, 宮サイクルステーション

9:40 JR宇都宮駅西口発

10:15 大谷資料館着

11:25 大谷資料館発

12:00 施設見学会終了(解散)

### 3. 事例発表

「富山市自転車利用環境整備計画」

富山市自転車施策のご紹介

富山市 市民生活部生活安全交通課 杉山 裕 氏

富山市

# 自転車利用環境整備計画

TOYAMA BICYCLE PLAN

概要版



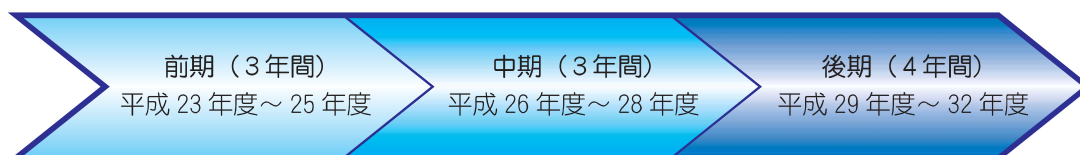
# 1. 計画策定の目的

自転車は、健康的で環境にも優しく、経済的な移動手段として注目を集めています。

この計画では、富山市における自転車利用環境整備の方向を示し、自転車の利用促進や安全で快適に自転車を利用できる環境づくりに取り組むことを目的とします。

## 2. 計画の期間

この計画は、平成 23 年度を初年度として、平成 32 年までの 10 年間を計画期間とします。



## 3. 将来像

本市では今後、北陸新幹線の開業により、“人”の交流活動が活発になると予想されることから、“まち”の回遊性向上や、本市の豊かな“自然”環境と触れ合う機会の創出等により本市の魅力と活力を高めていく必要があります。

本計画では、環境にやさしい自転車を、「人」と「まち」と「自然」をつなぐ都市交通の重要なツールとして位置づけ、『ECO-BICYCLE-CITY TOYAMA～人・まち・自然をつなぐ自転車のまち とやま～』を将来像とし、魅力ある「自転車のまち とやま」の創造を目指します。

《将来像を構成する人・まち・自然と4本柱のつながり》



## 4. 自転車利用環境整備に向けた取り組み

### (1) はしる ～自転車走行空間整備の取り組み～

#### ● 都心地域・五福地域における自転車ネットワークの形成

特に自転車利用が多い都心地域および五福地域において、「車道上の走行空間」と「歩道上の走行空間」の組み合わせにより、連続する自転車ネットワークを構築します。

#### ● ネットワーク路線の設定

自転車の利用頻度が高いと想定される区間や既に自転車走行空間が整備済みの区間に加え、松川やいたち川沿いの道路などを自転車ネットワーク路線として設定します。

#### ● 自転車の走行空間

##### 【車道上の走行空間】

既存の自転車レーンの前後区間や路肩等にゆとりのある区間、車線幅員の見直し等により走行空間の確保が可能な区間において、連続する自転車走行空間の確保を目指します。

##### 【歩道上の走行空間】

幅員にゆとりのある歩道や車道上での走行空間確保が困難な区間において、歩行者との視覚的または物理的分離による走行空間を確保します。

#### ● 交通安全対策

このほか、交差点部、細街路との交差部、バス停付近での交通安全対策に取り組みます。

《富山市における自転車ネットワーク》



地図参考：(株) 刊広社

#### ● 統一的な案内サインや路面標示の導入

自転車マークは、視認性の高いシンプルなマークとし、矢印とあわせて進行方向を示すこととします。また、「青系」を基本的な路面着色カラーとして推奨します。

車道上・歩道上ともに大きな自転車マークを設置することで、自転車の走行位置を明示します。

《富山市における自転車マーク》



## (2) とめる ～駐輪環境整備の取り組み～

### ●既存駐輪場の適正な利用の推進

適正な駐輪場利用に向けて、看板等の設置による駐輪場への案内性の向上や施設の改修、維持管理による駐輪環境の改善に取り組みます。

また、放置自転車の撤去を強化するとともに、新たな撤去自転車の保管場所の確保を検討します。

### ●新たな駐輪場の整備

#### ●富山駅周辺での駐輪環境の改善

北陸新幹線開業に伴う高架下空間の活用による駐輪場確保を検討するほか、路上駐輪が目立つ箇所での小規模駐輪施設の整備に取り組みます。

#### ●商業施設や公共公益施設等の周辺での駐輪環境の改善

軌道駅やバス停周辺の交通結節点で路上駐輪が目立つ箇所では、小規模な路上駐輪施設の整備に取り組みます。

ゆとりある公共空間を有する地区では、駐輪施設だけでなく、ベンチなどの休憩施設を備えたポケットパークを整備します。

商業施設や企業が多く集積する地区では、小規模駐輪施設の高密度な配置を検討します。

《路上駐輪が多く小規模駐輪施設の整備を想定する箇所》



地図参考：(株) 刊広社

### ●駐輪環境の充実に向けた仕組みづくり

市民や企業などとの連携により、違法駐輪多い箇所や新たな駐輪需要の情報を共有するほか、小規模駐輪施設などでは、周辺の市民や企業等との協働による維持管理を働きかけます。また、大規模な商業施設などを整備する際の駐輪場の附置義務について、導入の可否を検討します。





### (3) いかす ～自転車利用促進の取り組み～

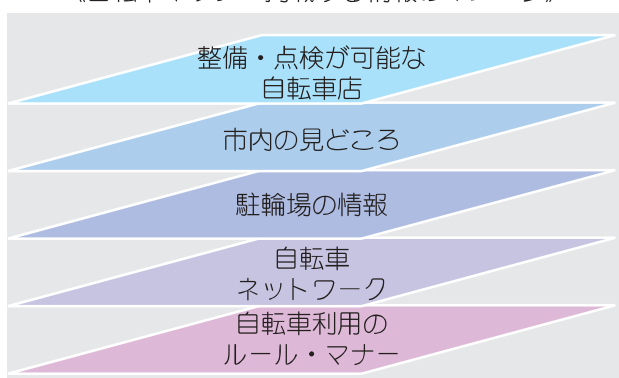
#### ● 自転車の利用促進に向けた情報発信の充実

都市交通の一つとして自転車の利用促進を図るとともに、自転車を楽しむための取り組みを実施します。

##### ● 自転車マップの作成

自転車利用に関する様々な情報やルール・マナーを掲載した自転車マップを作成します。

《自転車マップへ掲載する情報のイメージ》



##### ● クルマから自転車への利用転換方策の推進

環境面や経済面、健康面の効果を発信するとともに、アヴィレの利用促進による中心市街地の回遊性の向上を図ります。また、既存の無料レンタルサイクルの取り組みを継続するとともに、新たなレンタルサイクルの導入を検討します。

《アヴィレのステーション（丸の内）》



このほか、転勤などで不要となった自転車を再利用できる新たな仕組みづくりを検討するとともに、引き続き撤去自転車のリサイクルや部品の再利用に努めます。

#### ● 自転車を楽しむためのモデルコースなどの紹介

富山市内に整備されている自転車道や既存の道路を活用し、市内各地の魅力を伝えるモデルコースなどを紹介します。

《自転車を活用した広域連携のイメージ》



## (4) まもる ～ルール遵守・マナー向上の取り組み～

### ● 自転車利用に関するルール・マナーの意識啓発

自転車利用者をはじめ、歩行者やクルマのドライバーに対しても自転車利用のルール・マナーを啓発し、それぞれが安全で快適に移動できる環境づくりに努めます。

#### ● 広報媒体の活用による自転車のルール・マナーの啓発

- ・市のホームページを通じた自転車利用のルール・マナーの啓発。
- ・新聞、テレビなど各種メディアとの連携によるルール・マナーの啓発。

#### ● 歩行者やドライバーへの意識啓発

- ・路面標示や看板等により、歩行者やドライバーに対しても自転車利用のルール・マナーを啓発。

#### ● 小・中学生、高校生に対する意識啓発の強化

- ・小・中学生の保護者が子どもと共にルール・マナーを学べる機会を創出。
- ・高校生へのサイクル安全リーダーの普及。

#### ● 自転車の安全点検の徹底

- ・安全な自転車利用に向けて、自転車の定期的な点検・整備の必要性を周知。

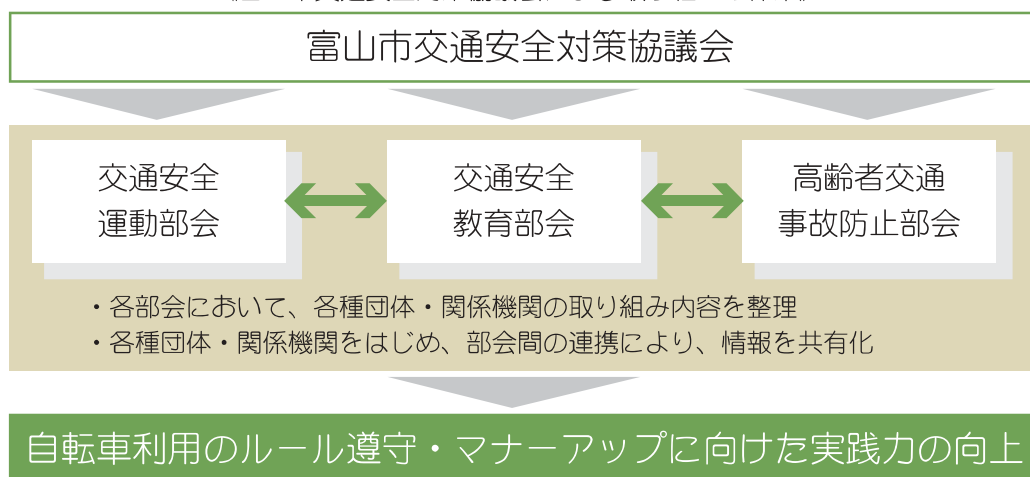
### ● 駐輪マナーの周知・PR

路上や駐輪場内での無秩序な駐輪や長期の放置自転車の改善に向けて、駐輪マナーの周知・PRに努めるとともに、駐輪時の施錠徹底を周知し、自転車の盗難被害を抑制します。

### ● ルール・マナーの意識啓発に向けた仕組みづくり

各種団体・関係機関で構成する「富山市交通安全対策協議会」を通じて自転車に関する情報を共有化し、自転車利用のルール・マナーの意識啓発に向けた連携や取り組みを充実します。

《富山市交通安全対策協議会による取り組みの体系》



## 5. 将来像の実現に向けて

自転車利用環境整備に関する4つの柱の取り組みについて、

### ECO-BICYCLE-CITY TOYAMA

#### 人・まち・自然をつなぐ自転車のまち とやま

の将来像を構成する「人」「まち」「自然」の3つの視点より重点的な取り組みを整理します。

#### 「人」と自転車をつなぐ ～安全・快適な自転車利用の実現～

- ・自転車利用者が多い区間やアヴィレのステーションをつなぐ自転車ネットワークの形成を図ります。
- ・自転車利用に関するルール・マナーの意識啓発を図り、安全で快適な自転車走行を実現します。

《自転車レーン整備のイメージ》



#### ◆重点的な取り組み◆

- 基幹的な路線の整備【前期】
- バス停付近における対策【前・中・後期】
- 小・中学生、高校生に対する意識啓発の強化【前・中・後期】

#### 「まち」と自転車をつなぐ ～まちなかを楽しむ自転車利用の実現～

- ・駐輪環境の改善や自転車マップの作成により、まちなかでの自転車の優越性を高めます。

《ポケットパークのイメージ》



#### ◆重点的な取り組み◆

- 富山駅周辺の駐輪環境の改善【前・中・後期】
- 商業施設や公共公益施設等の周辺における駐輪環境の改善【前・中・後期】
- 自転車マップの作成【前期】

#### 「自然」と自転車をつなぐ ～自然とふれあう自転車利用の実現～

- ・本市の雄大な自然環境が楽しめるサイクリングコースなどを紹介します。
- ・環境に優しい自転車の利用促進に積極的に取り組み、自然環境に配慮した都市づくりを目指します。

《海辺サイクリングコースのイメージ》



#### ◆重点的な取り組み◆

- クルマから自転車への利用転換方策の推進【前・中・後期】
- モデルコースなどの紹介【前・中・後期】

## 6. 計画の推進

### ● 計画の推進にあたって

この計画の推進にあたっては、各種取り組みの実施による効果の把握および評価を行い、必要に応じて改善策を実施することにより、成果を重視した施策となるよう努めます。

特に、取り組みの実施にあたっては、富山市交通安全対策協議会において各種意見の把握に努め、交通環境の変化をはじめとする本市を取り巻く状況を的確に捉えながら、市民や各種企業・団体との協働を推進し、さらに、国・県等関係機関との連携を図ることにより、多様な主体が一体となった自転車利用環境の整備に努めます。

《PDCA サイクルによる進捗管理のイメージ》



### ● 安全な自転車利用に向けて ～自転車安全利用五則～

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る
  - ① 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
  - ② 夜間はライトを点灯
  - ③ 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
5. 子どもはヘルメットを着用（小学生以下）

【お問い合わせ】 富山市市民生活部 生活安全交通課  
〒930-8510 富山市新桜町 7 番 38 号  
TEL : 076-443-2052 FAX : 076-443-2176  
E-mail : seikatsuanzen-01@city.toyama.lg.jp







UTSUNOMIYA  
**BLITZEN**



## 『宇都宮ブリッツェン』活動概要

# 会社概要

**会社名:サイクルスポーツマネジメント株式会社**

**本社所在地:栃木県宇都宮市今泉町2995-9**

**設立:2008年10月**

## 【設立目的】

地域密着型のプロ自転車ロードレースチームとして世界と戦える選手を育成するとともに、関係機関と連携し、日本ロードレースのメジャースポーツ化に取り組んでいく。また国内ロードレースの活性化、魅力あるレース創り、ロードレースファンの拡大、地域活性化や貢献活動、行政との協働など、自転車文化全体の創造を目指す。

## 【事業内容】

### ■ チーム運営

宇都宮ブリッツェン(ロードレース)  
宇都宮ブリッツェン・シクロクロスチーム(シクロクロス)  
ブラウ・ブリッツェン(下部育成チーム)  
ブリッツェン・ステラ(ジュニア育成チーム)

### ■ サイクルイベント(一般ユーザー参加)企画運営

うつのみやサイクルピクニック  
那須高原ロングライド  
八方ヶ原ヒルクライム、ツール・ド・NIKKO

### ■ レース運営

宇都宮クリテリウム／宇都宮ロードレース  
那須塩原クリテリウム／那須ロードレース  
大田原クリテリウム／やいた片岡ロードレース  
タイムトライアルチャンピオンシップ(栃木市)  
ジャパンカップ サイクルロードレース(宇都宮市)  
宇都宮シクロクロス

### ■ 施設管理事業

宮サイクルステーション、サイクリングターミナル  
(指定管理者として業務受託)

### ■ 地域貢献活動

補助輪外し教室、自転車安全教室、介護予防事業、  
交通安全講話など



# 地域密着型プロ自転車ロードレースチーム 宇都宮ブリッツェン

## ～地域の輪を広げます～

宇都宮ブリッツェンは栃木県宇都宮市を拠点に、スポーツ自転車の普及と自転車文化の発展、そして環境に優しく健康にも良い、自転車の持つ多様な側面から地域社会へ貢献したいとの思いから2008年10月にチームを設立、2009年のシーズンよりプロロードレース活動を始めました。

国内最高峰のシリーズ戦である「Jプロツアー」や、国内での国際レースを主戦場とし、勝利を目指すことはもちろん、日本国内におけるレース文化の発展を目標として、各種レース情報の配信などを積極的に行っております。また、自転車安全教室の実施や介護予防事業など、自転車およびスポーツを通じた地域貢献活動にも取り組み、宇都宮市の地域活性化、健康都市作りなどにも協力し、ホームタウンである宇都宮市をはじめ、栃木県の魅力をより多くの皆様に発信すべく活動しております。

### 【おもな戦績】

Jプロツアー： 年間チーム総合優勝2回(2012、2014年) 年間個人総合優勝(2012年、増田成幸)

UCI公認レース： ツール・ド・北海道 個人総合優勝(2016年、増田成幸)

ツール・ド・おきなわ 優勝2回(2014、2016年、増田成幸)





## 2017 宇都宮ブリッツェン チーム体制



雨澤 毅明

馬渡 伸弥

増田 成幸

岡 篤志

阿部 嵩之

(下野市出身)

飯野 智行

鈴木 譲

小野寺 玲

鈴木 真理

(鹿沼市出身)

ゼネラルマネージャー: 廣瀬 佳正    監督: 清水 裕輔  
アシスタントマネージャー: 曾我部 正道    メカニック: 田村 遼  
チームドクター: 牛島 史雄    チームマッサー: 細谷 桂(スポーツアロマ・コンディショニングセンター)  
オフィシャルメディアスタッフ: 小森 信道(HATTRICK COMPANY)



# 2017シーズン チーム成績（10月20日現在）

## ◆Jプロツアー：3勝

- ・石川ロードレース(雨澤 毅明)
- ・大田原クリテリウム(小野寺 玲)
- ・輪島ロードレース(雨澤 毅明)

※Jプロツアーチーム年間総合第2位

## ◆UCIレース(国内):

- アジア選手権個人タイムトライアル優勝(小野寺 玲)
- ツール・ド・とちぎ 個人総合第3位(鈴木 譲)
- ツール・ド・とちぎ 新人賞(岡 篤志)
- ツール・ド・熊野 ポイント賞(阿部嵩之)



## 2017シーズン チームトピックス

U23日本代表チームへ3選手が招集。

欧州各地で開催されるネイションズカップ(国別対抗戦)を、シーズンを通して転戦。



雨澤 毅明

(栃木県下野市出身)



小野寺 玲

(栃木県鹿沼市出身)

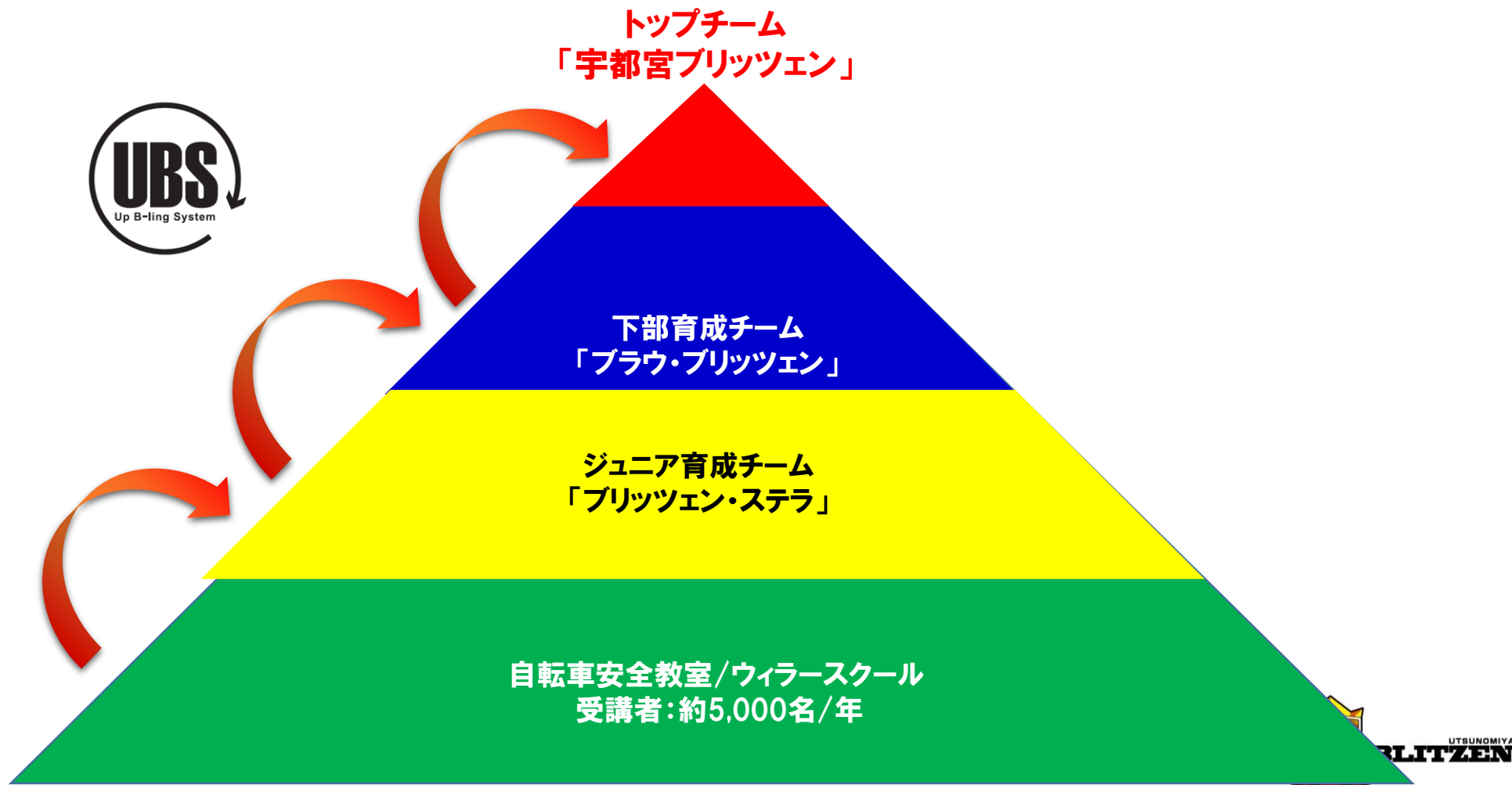


岡 篤志

「U23のツール・ド・フランス」と呼ばれる若手選手の登竜門、  
「ツール・ド・ラヴニール」へ3選手が参戦。(8/18～27)

# サイクルスポーツ振興～若手選手の育成

ロードレーサーを子供達の“あこがれ”の対象に。  
育成プログラムを拡充し、エリート選手へのステップアップを支援。  
将来的なチーム基盤の強化、そして宇都宮から世界に羽ばたく選手を育成。  
サイクルスポーツを通じての人間力育成にも注力。



## 下部育成チーム「ブラウ・ブリッツェン」

ブラウ・ブリッツェンは、宇都宮ブリッツェンや世界の舞台で活躍出来る若手選手を育成・輩出する為、2010年に設立された宇都宮ブリッツェンの下部育成チームです。栃木県内を中心に、限られた環境でも高いモチベーションを維持し、限界にチャレンジしたい社会人レーサーの受け皿としても活動しています。JBCFシリーズ『Jエリートツアー』を主戦場とし、Jエリートツアー団体総合優勝とジャパンカップオープンレースの優勝を目標に掲げています。トップチームである宇都宮ブリッツェンでは、チーム強化において直接的なスカウティングと下部育成チームからのランクアップ制度を設けています。また、毎年11月に宇都宮森林公園にてトライアウトを開催し、新たなレーサーの発掘を行っています。

- ・ゼネラルマネージャー: 荒井 学
- ・監督: 廣瀬 佳正
- ・コーチ: 鈴木 真理
- ・選手在籍: 35名
- ・オフィシャルウェブサイト: <http://www.blitzen.co.jp/blau/>



ブラウ・ブリッツェン





# ジュニア育成プログラム「アップ・ビーリング・システム」

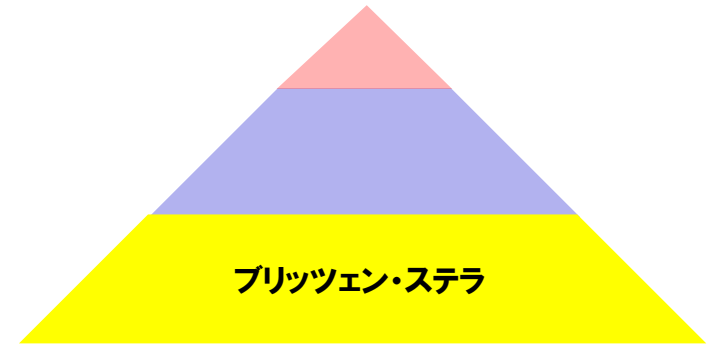
## Up Bling System

UP = Utsunomiya Pride (宇都宮のプライドと向上心)

Upbringing = 育成      B-ling = BLITZEN + RING (輪) を繋げた造語

「アップ・ビーリング・システム」は子どもたちにサイクルスポーツの魅力と楽しさを伝えるジュニア育成プログラムです。  
将来の夢にプロ自転車選手を描く子どもたちのためのジュニアクラブとして活動します。

チームでの練習を通して、交通ルールや安全走行のマナーだけでなく、集団での行動やフェアプレイ精神を学ぶことで、スポーツのみならず日常生活においても優れた人間性の育成も目指していきます。



## ジュニア育成チーム「ブリッツェン・ステラ」



アップ・ビーリング・システムの活動として、  
次世代の選手育成を目的とした、  
小学4年生から6年生を対象のジュニアクラブ「ブリッツェンステラ」  
が2017年5月より活動を開始。  
毎週水曜日、日曜日にトレーニング活動を実施中。





## 地域貢献活動—自転車安全教室の実施

栃木県庁や宇都宮市役所などの行政や警察とも連携し、小中学校および高校を中心に「自転車安全教室」を実施。子どものころからしっかりと自転車のルールやマナーを守り、正しい自転車の乗り方を身に付けられるように、また将来的にその認識と意識の輪を広げて事故が減り、誰もが安心して自転車を楽しめるよう今後も継続的に実施して参ります。



## 地域貢献活動—自転車安全教室の実施

「週刊少年チャンピオン」で連載中、コミックス累計発行部数1400万部超の  
人気作品「弱虫ペダル」とコラボ自転車安全教室を実施



コラボ反射ステッカー

|                              |     |   |   |    |
|------------------------------|-----|---|---|----|
| 氏 名                          |     |   |   |    |
| 誕生日                          | 平成  | 年 | 月 | 日生 |
| 住 所                          | 栃木県 |   |   |    |
| 学 校                          |     |   |   |    |
| 交 付                          | 平成  | 年 | 月 | 日  |
| 番 号                          | 号   |   |   |    |
| 自転車安全運転免許証                   |     |   |   |    |
| 自転車安全運転の限り有効                 |     |   |   |    |
| 弱虫ペダル X BLITZEN              |     |   |   |    |
| 2014年10月より放送スタート テレビ東京系列各局にて |     |   |   |    |

自転車安全免許証



HINO 弱虫ペダルトラック

累計受講者数、44,000人を突破  
(2017年10月現在)



## 2017 サイクリングイベント運営／企画協力

宇都宮ブリッツェン所属選手も参加者し参加者をサポート。  
ライドイベントへの興味関心が強まるなか、参加者も年々増加。  
地域における交流人口の増加とともに地域振興にも寄与する活動を行っております。

### <2017弊社主催／運営協力イベント>

|                                             |              |
|---------------------------------------------|--------------|
| 4月30日(土) うつのみやサイクルピクニック                     | (参加者 1,500名) |
| 7月9日(日) 那須高原ロングライド with 那須ブラーゼン & 宇都宮ブリッツェン | (参加者 2,700名) |
| 7月17日(月・祝) 走ってみっぺ南会津 with 宇都宮ブリッツェン         | (参加者 600名)   |
| 8月20日(日) やいた八方ヶ原ヒルクライム                      | (参加者 700名)   |
| 9月10日(日) ツール・ド・NIKKO with 宇都宮ブリッツェン         | (参加者 2,000名) |



# 2017 レース大会 企画運営

## ジャパンカップ サイクルロードレース

日本はもとよりアジア最大のワンデーレース。毎年10月に宇都宮市で開催。  
「UCIアジアツアー」にカテゴライズされ、グレードは最上位の「HC」(Hour Class)に分類。  
当社は実行委員会の構成メンバーとして企画運営に参画。



## JBCF宇都宮クリテリウム／宇都宮ロードレース

宇都宮ブリッツェンが主戦場とする国内シリーズ戦「Jプロツアー」の開幕戦。毎年3月に宇都宮市で開催。  
当社とJプロツアーを主幹する一般社団法人全日本実業団自転車競技連盟との共催。





## JBCF那須塩原クリテリウム／那須ロードレース

宇都宮ブリッツェンが主戦場とする国内シリーズ戦「Jプロツアー」の公式戦。  
当社はレース運営に協力。



## JBCF大田原クリテリウム／やいた片岡ロードレース

宇都宮ブリッツェンが主戦場とする国内シリーズ戦「Jプロツアー」の公式戦。  
当社はレース運営に協力。



## 宇都宮シクロクロス

11月～2月の間で2～3戦を予定するシクロクロスのシリーズ戦へ  
実行委員会の構成メンバーとして参画。





宇都宮市より指定管理者として施設運営管理業務を受託。  
「自転車のまち、うつのみや」の実現に向けて、様々なサービスを提供しております。

## ◆宮サイクルステーション

JR宇都宮駅西口に隣接する施設。  
無料で利用できる、トイレや休憩スペース、自転車修理工具などを用意。またレンタルサイクルやシャワー室などの有料サービスも併設しています。



## ◆宇都宮市サイクリングターミナル



宇都宮市森林公園に隣接する施設。  
レンタルサイクルをはじめ、食事・宿泊・研修・宴会などにも対応。  
自然と親しむ人と自転車の中継ステーションとして、運営しております。

## メディアへの露出

### 《テレビ/ラジオ》

- ・NHK総合 ひるまえホット 自転車旅番組出演中
- ・NHK宇都宮放送局 自転車旅番組 キラリ☆とち旅レギュラー出演中
- ・とちぎテレビ Ride ON!毎週木曜22時～22時30分 視聴数約4万人
- ・RADIO BERRY76.4FM LOVE CYCLISTA 毎週水曜20時～20時30分 視聴数2万8千人
- ・CRT栃木放送「イナズマRadio!」毎週月曜 21:45～

### 《新聞/雑誌》

- ・下野新聞 年間掲載 40回以上 発行部数30万部
- ・読売新聞 年間掲載 24回以上 発行部数19万部
- ・毎日新聞 年間掲載 30回以上 発行部数 4万部
- ・もんみや 年間掲載 12回以上 発行部数 5万部
- ・坂田新聞店 Tonton 年間掲載12回以上 発行部数 6万部

※上記はメディア露出実績の一部です。

